

# 人材育成コース ガイダンス

9:00-9:30

令和5年度 相談支援従事者指導者養成研修  
日時：2023年6月8日（2日目）

# ガイダンスの内容

1. 人材育成コースの目的と内容
2. 6月8日と6月9日の目的と内容
3. なぜ<sup>〃</sup>実地教育が重要なのか？

# 人材育成コースの目的と内容

## 業務実施地域における実地教育（OJT）を考える2日間

1. スーパービジョン等の知識と技術を確認して、どのように振舞うかを学ぶ（6月8日、6月9日）
2. どのような実地教育の形態があるのかを学ぶ（6月9日）
3. 実際に業務実施地域で行う実地教育の目標等を考える（6月9日）
4. 最終的に業務実施地域の実地教育を活性化させる一助になれば・・・。

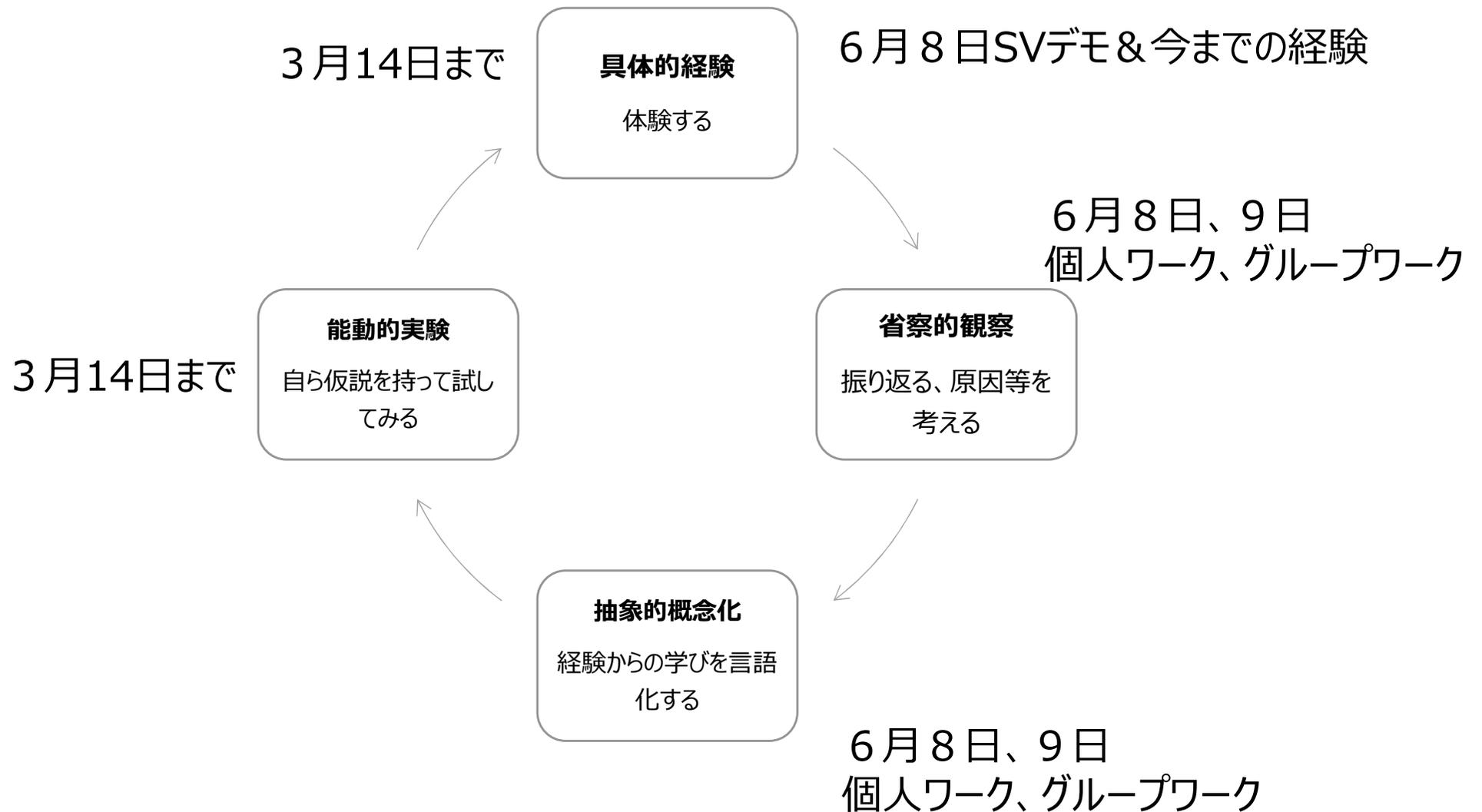
# 人材育成コースの全体像

1. 指導者研修2日目、3日目：6月8日、6月9日  
⇒実地教育の形態やどのように振舞うかを学ぶ

2. インターバル期間：2023年6月～2024年3月  
⇒学んだことを活かして、実地教育を実践する

3. 指導者研修4日目：2024年3月15日  
⇒実践した実地教育の振り返りと今後について

# 経験学習モデル



皆さん、どこかで見たことのある図だと思いますが、この経験学習モデルが本研修の構造の基盤になっています。

# 演習の進め方

- 演習では各グループ、進行、記録、発表、タイムキーパーの担当を決めてください。
- 基本的に演習はグループの進行役が進行してください。疑問等ありましたら、いつでも講師に聞いてください。
- 講師は各グループ1名以上配置されます。

# 6月8日のスケジュール

時間	内容
9:00-9:30	コースガイダンス
9:30-10:50	講義 スーパービジョンに関する講義
10:50-11:00	休憩
11:00-11:30	演習1 ミニ演習【2人1組】
11:30-12:30	昼休憩
12:30-14:20	演習2 個別スーパービジョンの演習【グループ】
14:20-14:30	休憩
14:30-15:40	演習3 個別スーパービジョンの演習【グループ】
15:40-15:50	休憩
15:50-16:35	振り返り講義（全体共有）&演習
16:35-17:30	演習4 スーパービジョンの振り返り

# 6月9日のスケジュール

時間	内容
9:00-9:45	コースガイダンス&ミニ講義
9:45-11:45	演習4のつづき【グループ】  演習5 業務実施地域の実地教育について【グループ】  演習6 個別SVの振り返りと3月までの計画作成【グループ】
11:45-12:00	コース振り返り
12:00-13:00	休憩
13:00-16:00	全体プログラムへ

# 実地教育とは？

「実践知を養い熟達化するための実務・実践場面での取り組みについて、本研修では実地教育（OJT）と定義する」

# 実践知とは？

熟達者（ある領域の長い経験を通して、高いレベルのパフォーマンスを発揮できる段階に達した人）がもつ実践に関する知性

# 熟達化とは？

実践知を獲得する学習過程

# 業務実施地域における実地教育の例

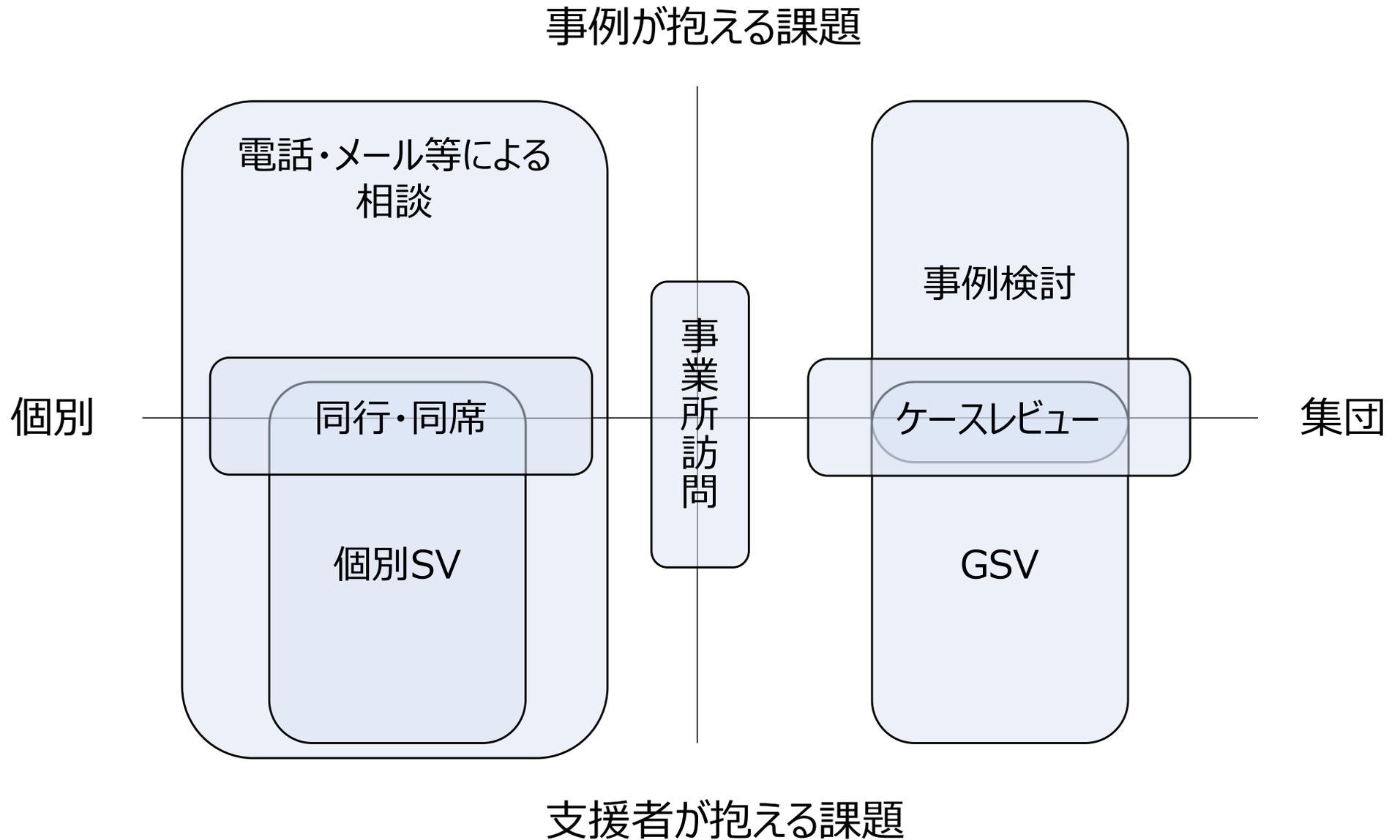
## ■内容

- 地域の相談員による電話やメール等の相談への対応
- 地域の相談員が行う会議や面談等への同行
- 委託・特定相談支援事業所に訪問して相談を受ける
- スーパービジョン（グループスーパービジョン含む）の実施
- 事例検討会の開催
- 研修会の開催

## ■対象

- 同じ事業所の相談支援専門員
- 他の事業所の相談支援専門員

# OJTの見取り図案ver1



# なぜ、実地教育が重要なのか？

## ①社会福祉実践の特徴

正答を一つに定めることが難しい（正解か検証困難な）業務

## ②経験を経験で終わらせないために・・・

実践知の獲得には個人差が生じると言われている。この要因としては、態度、省察、批判的思考があげられている。実地教育を行うことで、他者が上記の3点をサポートすることが可能になる。

皆さんはどのように実践で役立つ知識や技術を獲得してきましたか？

# モチベーションが高まる構造

モチベーションに影響する要因としては、価値、予期、環境があげられます。

## □価値

- 達成感を味わう（達成価値）
- 活動そのものに価値を見出す（内発的価値）
- 将来に役立つ（道具的価値）

## □予期（期待）

- 目標や結果を「達成できる」という自分なりの予測
- 適切な難易度の課題が予期を高める

## □環境

# 本研修のモチベーションを考える

教授者が3つの要因を刺激することが大切です。

## □価値

- 実地教育の浸透、活性化は相談支援専門員の定着をうながし、それぞれの持っている能力を発揮するために有効。
- 障害児者の生活の質向上に寄与することができる。

## □予期

- 誰もが初めは初心者。スーパービジョンを体験して、失敗したことや成功したことを共有するところから始めましょう。

## □環境

- 各グループに1人、演習講師が配置されます。
- グループの構成員の経験値は多様です。

# 演習 2 の流れ

時間	時間	内容
12:30~ 13:00	30分	演習 演習手順等の説明（全体） 役割分担&自己紹介（実地教育についても）
13:00~ 13:10	10分	演習 演習事例の提示（読み込み）
13:10~ 13:20	10分	演習 SVの方向性の作成
13:20~ 13:30	10分	演習 グループワーク（個人作業の共有とグループでの統合）
13:30~ 13:55	25分	演習 グループワーク（配役とシナリオの作成）
13:55~ 14:10	15分	演習 グループワーク（スーパービジョンのロールプレイ）
14:10~ 14:20	10分	演習 グループワーク（評価）

# 演習 3 の流れ

時間	時間	内容
14:30~ 14:31	1分	演習手順等の説明
14:31~ 14:40	9分	個人演習 SVの方向性の作成
14:40~ 14:50	10分	演習 グループワーク（個人作業の共有とグループでの統合）
14:50~ 15:15	25分	演習 グループワーク（配役とシナリオの作成）
15:15~ 15:30	15分	演習 グループワーク（スーパービジョンのロールプレイ）
15:30~ 15:40	10分	演習 グループワーク（評価）

# 振り返り講義 & 演習 4 の流れ

15:50-16:35	振り返り講義 & 演習
16:35-16:40	演習 4 の説明
16:40-17:20	演習 4 SVの準備期について【グループ】
17:20-17:30	演習 4 まとめ【グループ】

# 演習 4 のねらい

- デモをご覧になって、皆さんはどのように感じましたか？
- SVを実施する際の技術に着目するのも重要ですが、SVがどのような方向性で行われたのかといった点も重要になります。
- SVをどのような方向性で行うのかについては、皆さんも考えましたね。この時期をこの研修ではSVの準備期とします。そして、実際に行ったSVが適切であったかを振り返る時期をSVの振り返り期とします。
- この2つの時期について、ご自身の取り組みを振り返り、また理解することが演習 4 のねらいです。

## SVの準備期

- 事例のアセスメント
- 相談員のアセスメント
- 検討内容の絞り込み

## SVの実施期

- SVの円滑な実施

## SVの振り返り期

- SVで検討した事項のその後の把握

# 演習 4 SVの準備期の演習①

- SVの準備期とは、SVを実施する前に行うもので、事例のアセスメントやバイジーのアセスメント等を行う時期になります。
- SVで取り上げるべき内容は多様ですが、時間は限られています。その中で、今回のSVでどのような点をバイジーに気付いてもらうか絞り込む必要があります。これがまさに、SVの方向性を定めることと言えます。
- 皆さんが実際に行ったSVとデモのSVを比べ、SVの方向性の類似点、相違点について話し合ってみましょう。

- まず皆さんが考えたSVの方向性を振り返りましょう。
- 次に、デモSVの方向性について振り返りましょう。

## 演習 4 SVの準備期の演習②

- それではもう一度、ゆっくり考えてみましょう。まずは個人で考えて、その後、グループで共有してください。

以下の点について考えてみましょう。

- 相川さん自身また、千葉くんへの支援内容でもっと知りたいこと
- 相川さん自身の相談支援専門員としての能力をどのようにアセスメントしたか？
- 相川さんに気付いて欲しいことを絞り込むと？

## 演習 4 SVの準備期の演習③

- もし、皆さんが菅原さんだったら、どのような実地教育の方法を相川さんに行いますか？ 今までの準備期のまとめとして、実地教育の方法について考えてみましょう。

メモ

# 演習4 今日のまとめ

- 今日はSVの実施期だけでなく、SVの準備期について考えてみました。皆さんが実際に取り組んでいる内容や今日の気付き等を自由に共有して終わりにしましょう。お疲れさまでした！

メモ